

栽培カレンダー

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		●	●								◆
		○	○								◆
					●						◆

●種まき ○植えつけ ●収穫 ◆刈り取り



植えつけた翌年に出た若莖は収穫せずに、株作りを心がけます。莖は細いですが葉は多数出てよく茂るため、風で倒れて根元から折れやすくなります。早めに支柱をしっかりと立て、ひもを横張りにして、莖葉を支えておくことが大切です。

JA愛知オリジナルキャラクター「レキ」

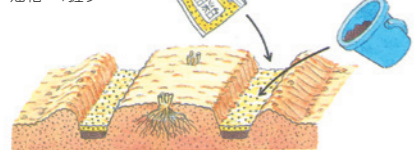
8 茎葉刈り取り



病原菌の越冬場所にならないように、畑の外に持ち出して、燃やしたり土に埋めたりして処分する。落ちた枯れ葉もきれいに片づける

9 追肥(春肥)

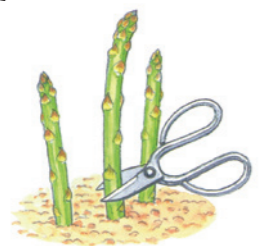
株を充実させるために、3年めの春に追肥を施す
(1株当たり)
堆肥 バケツ1/2杯
油粕 1握り



10 収穫

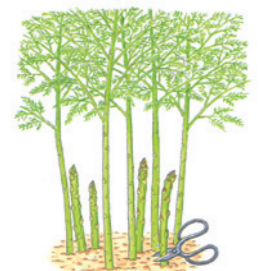
通常の方法

3年めから、伸びてきた芽を地ぎわから刈り取って収穫する。強い芽が出ている間に収穫を打ち切り、残った芽を生長させ、株に来年の養分を蓄積させる



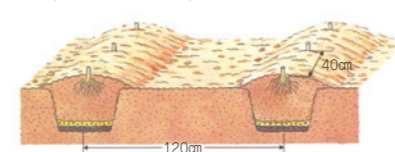
長期収穫(2季どり)する方法

春夏の若莖は、少し収穫するだけにして、早めに莖を立てる。そして秋に出てくる若莖を、発生しなくなるまで収穫する



4 植えつけ

苗の大きさをよくそろえて植える



5 追肥(夏肥)

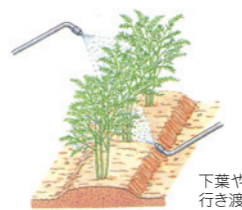
莖葉が盛んに育ち始めたころ通路側に肥料をばらまく

(1株当たり)
油粕 大さじ3杯



6 病害防除

降雨が続いたときに発病しやすい。早期発見に努め、薬剤散布を遅れずに行う



下葉や葉の裏にもじゅうぶん行き渡せるように散布する

7 支柱立て



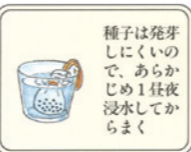
両わきに支柱を立て、ひもを張る

1 苗づくり

本数が少ない場合ポット育苗



育苗箱に種をまきます



種子は発芽しにくいので、あらかじめ1昼夜浸水してからまく



育ちが盛んになるころ間引き

草丈10cmくらいになったら3号ポリポットに移植



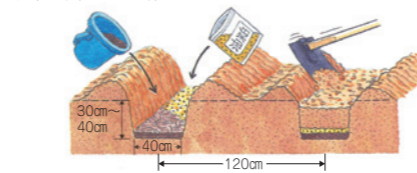
冬に入り地上部が枯れてきたら刈り取る

2 畑の準備・元肥入れ

長期間の栽培になるので、予定畑は早めに深耕して、pHを弱酸性~中性に調整しておく

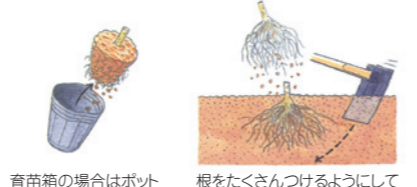
(溝の長さ1m当たり)

堆肥 7~8握り
油粕 大さじ7~8杯



3 苗の掘り取り

翌春、植えつけ期になったら、苗を掘り上げる



育苗箱の場合はポットから根株を取り出す

根をたくさんつけるようにして掘り取る

一度植えたら長期間収穫できる

アスパラガス

古代ギリシャ時代に栽培の起源を持つ古い野菜。アスパラガスとは、たくさんに分かれるとか、激しく裂けるといふ意味のギリシャ語に由来する名です。根に太いひも状の貯蔵根が多数あり、ここに蓄えた養分で太い若莖を何本も伸ばします。休眠中の地下莖は耐寒性が高く、一度植えておけば8~10年は継続して栽培できます。

自己改革 真っ只中

地元産農畜産物を販売PR!

産直広場でイベントを開催! 市場外流通の目標達成をめざします!

組合員皆様のご期待・ご要望にお応えするために、当JA自己改革の基本目標として掲げているのが、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」です。その目標達成に向けて、各支店では朝市や支店まつりなどを開催しながら、地元産農畜産物の販売PRに力を入れてまいります。1月19日と2月7日には、稲沢市国府宮や下津近辺の支店が合同で地元産農畜産物を販売PRするイベントを、産直広場下津店と産直広場国府宮店で盛大に開催いたしました。また、当JA産直広場をはじめ全国各地にある量販店などで地元産農畜産物の販売強化に取り組み市場外流通でも、大きな成果をあげております。今後も農業者の所得増大をめざして、売上目標の達成に向けて全力で取り組んでまいります。

産直広場下津店でナスとシイタケを試食販売!



ナスは麻婆茄子の素で味付け!



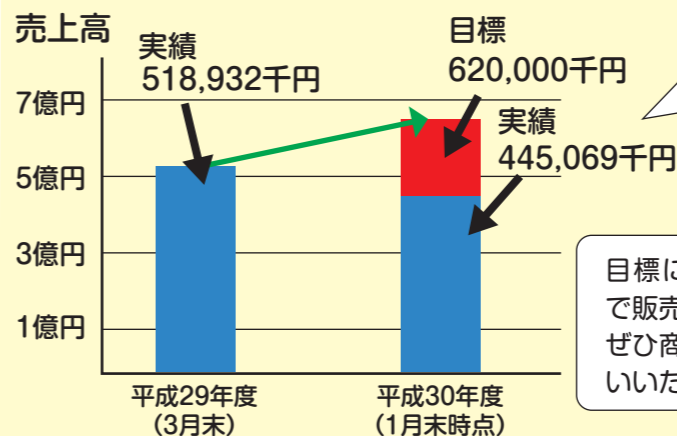
シイタケは焼いてしょう油で味付け!



産直広場国府宮店でホウレンソウを試食販売!

ホウレンソウ入りのホットケーキ!

産直広場全店の産直品売上実績

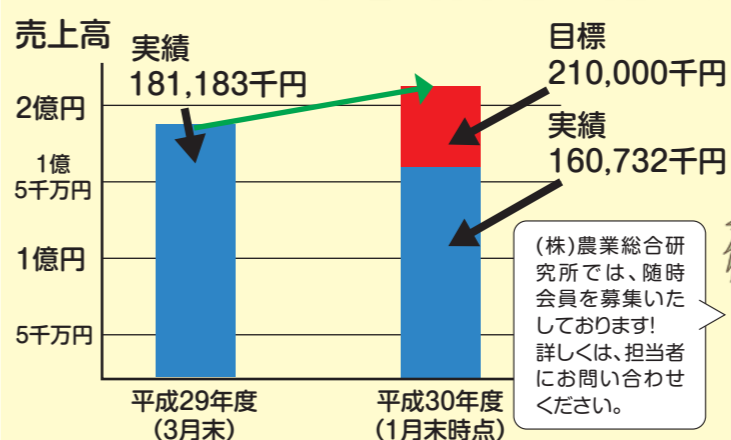


1月末時点での産直品売上金額は売上全体の38.8%を占めます!

目標に向かって、全力で販売いたします! ぜひ商品の出品をお願いいたします!

JAオリジナルキャラクター「ケン」

市場外流通の売上実績



(株)農業総合研究所では、随時会員を募集しております! 詳しくは、担当者にお問い合わせください。

市場外流通先

産直野菜

地元量販店
(株)農業総合研究所
(全国各地の量販店)

共選野菜

地元量販店
JA産直広場

(株)農業総合研究所担当 販売部:石井泰男 090-7915-3047(直通)

○収穫した農産物を産直広場へ出品してみませんか? 只今、産直会員募集中! お申込みは、最寄りの支店窓口へ!